

2020年度事業報告

1. 研究広報事業

(1) 講演会の開催

2020年度は実施していない。

(2) 第42回沖縄研究奨励賞

沖縄の地域振興及び学術振興に貢献する新進の沖縄研究者の発掘をめざす第42回沖縄研究奨励賞は、選考委員会により最終選考された下記の3名を受賞者に決定し、賞状及び研究助成金を贈呈した。本事業は、7月15日から全国の報道機関、学協会、その他研究機関等の協力を得て推薦応募を開始。9月末日締切りまでに全国から11件の応募があった。1月20日那覇市内のパシフィックホテル沖縄で贈呈式を行ったが、今回は、コロナ禍を考慮し規模縮小のうえ本年度の受賞者、奨励賞選考委員、協会役員、関係者約20人の出席のもと実施した。なお、受賞者の授賞理由並びに各種資料を整理して『沖縄協会だより』第18号（2020年12月発行）に収録し、また、第19号（2021年3月発行）に贈呈式・受賞者研究題目の要旨とこれからの抱負を収録して関係各方面に提供した。

自然科学部門受賞者

マンゴー病害グループ（代表者・澤岷 哲也）他グループ構成員4名

研究題目：「沖縄産マンゴーに発生する炭疽病と軸腐病の発生生態の解明および防除技術に関する研究」

人文科学部門受賞者

麻生 伸一 氏（沖縄県立芸術大学全学教育センター・准教授）

研究題目：「近世琉球政治社会史の研究」

社会科学部門受賞者

小原 満春 氏（沖縄県立那覇商業高等学校・教諭）

研究題目：「沖縄県における観光経験とライフスタイル移住の関係に関する研究」

(3) 資料室の整備

沖縄平和祈念堂管理事務所に設置した資料室の蔵書の整理や閲覧に関するリニューアルを行った。各方面から寄贈された沖縄関係資料を受け入れた。東京事務所においての閲覧・貸出は、平和祈念堂から資料を取り寄せて対応した。

(4) 情報誌『沖縄協会だより』の発行

当協会の事業及び沖縄に関する諸般の理解を深めるため、「沖縄協会だより」第16号～19号を発行し、内閣府、沖縄県、県内各市町村、沖縄関係団体等500カ所へ配布した。

(5) ホームページによる広報活動

当協会の事業を広報するため、インターネットを活用した沖縄協会ホームページの充実に努めた。

2. 沖縄関係団体等助成事業

沖縄県民の生活の向上及び沖縄県出身の青少年の健全育成に寄与し、沖縄における戦没者を慰霊するため、次の事業を行った。

(1) 沖縄女性の地位向上に寄与する研究及び活動に対する助成

沖縄女性の地位向上のため、社会的に意義ある研究及び活動を行う個人または団体に助成する事を目的とする「金城芳子基金」事業に対し5件の応募があった。同基金運営委員会で慎重審査の結果、「沖縄県の低SES（社会経済状態）にある母親の育児関連レジリエンスの要因の検討」（和田 陽香里）を助成対象に選定し、6月12日に助成金を贈呈した。

(2) 沖縄県の生活文化の発展に寄与する研究及び活動に対する助成

隔年実施のため2020年度は助成なし。

(3) 本土で働きながら学ぶ沖縄県出身の青少年への勉学支援

勉学支援金審査委員会により決定した本土で働きながら学ぶ沖縄県出身の青少年7人（新規2人，継続5人）に対し「働きながら学ぶ沖縄青少年支援基金」により勉学支援金を支給し勉学を奨励した。なお、制度発足以来の支援金受給者は延1,148人となった。また、本年度は記名基金へ1件（100,000円）の協力があり、基金総額は67,769,000円となった。

(4) 沖縄県豆記者交歓会の取材活動に対する協力

2020年度は実施していない。

(5) 「しづたまの碑」の管理料助成

沖縄戦における全滅家族を祀る「しづたまの碑」の管理料を「霞会館基金」の果実により（一財）沖縄県遺族連合会に助成した。

(6) 沖縄全戦没者追悼式の共催

6月23日の慰霊の日に沖縄県が主催した沖縄全戦没者追悼式を（一財）沖縄県遺族連合会及び（公財）沖縄県平和祈念財団とともに共催した。

3. 沖縄平和祈念堂事業

沖縄平和祈念堂を開館し、戦没者を追悼し平和を祈念する平和祈念堂の理念の普及に努めるとともに、堂宇及び付属施設の整備保全に努めた。

(1) 沖縄平和祈念堂の管理運営

- ① 参観者に平和祈念堂のパンフレットを配布するほか、沖縄平和祈念堂ホームページに施設の趣旨説明、施設の紹介、行事案内を掲載し、沖縄平和祈念堂の理念の普及と広報に努めた。

- ② 平和祈念行事の開催に際し、県内外のマスコミ各社の協力を得て行事の広報と理念の普及に努めた。
- ③ 大手旅行会社が企画する研修及び大手旅行社の沖縄支社と地元観光関連施設で構成される協力会の会合に積極的に参加し、情報交換と誘客に関する協力依頼に努めた。
- ④ インターネットを活用して平和祈念堂のホームページで平和祈念堂の予約状況の周知及び団体参観者の予約受付を行い、事務の効率化を図った。

参観者数

総参観者数：9,368人（有料入館者数：7,603人）

大人 …………… 6,188人（66.1%）

中・高校生 …… 1,415人（15.1%）

小人 …………… 1,765人（18.8%）

参観者の来堂方法：一般来堂者 …… 5,816人（76.5%）

旅行業者の案内によるもの …… 1,787人（23.5%）

平和祈念堂各種行事の参加人数：40回こどもまつり …………… 0人

ぬちぬぐすーじさびらコンサートin摩文仁

「第5回モーツァルトレクイエムコン

サート」…………… 0人

令和2年追悼式前夜祭 …………… 約10人

43回摩文仁火と鐘のまつり …… 0人

- ⑤ 専門業者に委託して建築設備・消防設備・浄化槽・貯水槽の法定点検及び電気設備の年次点検を行った。
 - ⑥ 消防設備の法定点検及び各設備の小破修繕を行った。
 - ⑦ 沖縄平和祈念像、絵画等重要展示物の管理保全を図るため、警備会社に委託して夜間の警備に努めるほか、平和祈念堂構内の賠償責任保険を付保した。
 - ⑧ 業者に委託して敷地内の清掃、樹木の手入れ及び緑化に努め、参観者に安らぎを与えるよう環境作りを推進した。
 - ⑨ 広く一般の利用に供するため、戦没者を追悼する上で特別な日である6月23日沖縄慰霊の日及び8月15日終戦記念日を無料開放した。
- (2) 小中高校児童生徒が行う平和学習への協力
- ① 修学旅行等で沖縄平和祈念堂を訪れた児童生徒が実施する平和学習に対し、沖縄平和祈念堂の建設趣旨の説明や沖縄戦の記録映画の上映、会場提供等を行い、平和学習が円滑に運営されるように協力した。
 - ② 修学旅行の下見に来た教師等に平和学習教材用DVD及び平和学習ハンドブックを

寄贈し、平和学習の奨励に努めた。

- ③ 沖縄への修学旅行と平和祈念堂での平和学習を奨励するため、本土の小学校を中心とする教育関係機関を対象にホームページを通じて、平和学習教材用DVD「清ら島沖縄～摩文仁からのメッセージ～」と平和学習ハンドブック「清ら島 沖縄」改訂増補版の希望を募り、要望のあった学校等に配布した。

- (3) 各種団体が行う慰霊祭・演奏会・諸行事への会場提供及び協力

各種団体が戦没者を追悼し、世界の恒久平和を祈念して実施した次の慰霊祭・演奏会・諸行事に対して会場を提供し、会場設営の協力やマイク等の備品の貸出しを行い、事業の円滑運営に協力した。

- ① 念法真教総本山金剛寺慰霊祭(念法真教団)

2020年10月24日

- (4) 慰霊・平和祈念行事の開催

- ① こどもまつり

5月5日に第40回こどもまつり「こども琉球芸能奉納」を開催すべく諸準備を進めたが、コロナ禍のため出演者や観客の安全第一を考慮し中止にした。

なお、こどもまつりを内外に周知するため堂内前室にて過去の写真を用いて写真展を行った。

- ② ぬちぬぐすーじさびらコンサートin摩文仁

「第5回モーツァルトレクイエムコンサート」

(主催：レクイエムコンサート実行委員会 共催：沖縄県立芸術大学・当協会)

6月7日に開催を予定していた沖縄県立芸術大学オーケストラ・沖縄レクイエム合唱団による「モーツァルトレクイエムコンサート」はコロナ禍のため出演者や観客の安全第一を考慮し中止にした。

- ③ 沖縄全戦没者追悼式前夜祭

6月22日に沖縄県、(一財)沖縄県遺族連合会及び(公財)沖縄県平和祈念財団の共催のもと、沖縄県が行う令和2年沖縄全戦没者追悼式をより意義づけるため、その前夜祭を6月22日に開催した(42回目)。今回はコロナ禍を考慮しご遺族・一般各位の参列を見合わせていただき、規模を縮小して式典と琉球古典音楽の録音献奏(昭和55年度1980年・第2回目の録音)のみ実施した。参列者は関係機関の代表者と役員。

また、前夜祭を厳粛な気持ちで迎えるため、平和祈念像のほこりを払う“浄め”を6月11日に行った。

- ④ 摩文仁・火と鐘のまつり

戦没者の霊を慰め、永遠の平和を祈念して、大晦日に開催を予定していた第43回「摩文仁・火と鐘のまつり」は、コロナ禍のため参加者やボランティアの皆さんの安全第一を考慮し、まつりのメインは中止としたが、まつりに代わる小規模のセレモニーを役員と職員で実施した。また、まつりと新年を心あらたに迎えるため平和祈念像

のほこりを払う“浄め”を12月16日に行った。

なお、これまで中止・規模縮小にしたこどもまつり・レクイエムコンサート・前夜祭・火と鐘のまつりを内外に周知するため、堂内前室にて過去の写真を用いて写真展を行った。あわせて、祈念像・祈念堂の外観・少年の像の写真も展示した。

(5) 美術館の運営及び絵画の活用

美術館展示絵画テーマ「宇宙即私の希求」を基に絵画を年2回入れ替えて展示した。

〔絵画の展示期間と展示作品数〕

- ・2020年6月～11月 作品25点
- ・2020年12月～2021年5月 作品25点

(6) 行幸啓等要人応接

今年度はコロナ禍の中で諸行事自粛のため来賓がなかった。

(7) 清ら蝶園の運営

命と平和のシンボルである蝶の飼育と放蝶を通して命と平和の尊さを参観者に伝えるために運営する清ら蝶園の食草及び蜜源の植栽を行い機能の充実に努めた。

(8) 修繕・整備

- ① 事務所空調機 1階1機・2階2機取替工事
- ② ロビー空調機 1機取替工事
- ③ ロビー空調機室内機基板・ファン・ファンモーター取替工事
- ④ 静養室板間空調機取替工事
- ⑤ PCB 廃棄処理工事
- ⑥ 浄化槽放流槽フロートスイッチ 4個取替工事
- ⑦ 事務所1階入り口室内ドア設置工事
- ⑧ 祈念像漆塗り替え工事
- ⑨ 自動火災報知器(煙感知器)取替工事
- ⑩ 消火栓ポンプ・ポンプバルブ・ホース取替工事
- ⑪ 消火水槽ボールタップ取替・漏水修繕工事

4. その他の事業

2020年度は、沖縄関係団体から助成・協力の要請が無かったので実施していない。

庶務の概要

1. 行政庁に対する提出及び届出並びに申請

2020年度事業報告書等及び2021年度事業計画書等の提出を行った。

2. 会議開催状況

理事会，評議員会及び勉学支援金審査委員会を次のとおりに開催した。

(1) 理事会

① 書面による理事会（2020年6月17日）

付議事項 第1号議案 2019年度事業報告及び収支決算報告について
第2号議案 決議の省略による定時評議員会について

① 書面による理事会（2020年7月15日）

付議事項 代表理事の選定について

② 書面による理事会（2021年3月8日）

付議事項 第1号議案 2020年度収支予算の一部変更（案）及び運用財産の一部
取り崩しについて
第2号議案 2021年度事業計画及び収支予算（案）等について
第3号議案 資産運用規程の一部変更について
第4号議案 決議の省略による評議員会について

(2) 評議員会

① 書面による定時評議員会（2020年6月29日）

付議事項 第1号議案 2019年度事業報告及び収支決算報告について
第2号議案 理事及び監事の改選について

② 書面による評議員会（2021年3月22日）

付議事項 第1号議案 2020年度収支予算の一部変更（案）及び運用財産の一部
取り崩しについて
第2号議案 2021年度事業計画及び収支予算（案）等について
第3号議案 資産運用規程の一部変更について

(3) 書面による勉学支援金審査委員会

審査事項 2020年度勉学支援生について

事業報告の附属明細

1. 研究広報事業

(2) 第42回沖縄研究奨励賞

選考過程と日程

月 日	選考過程
2020 年	
6 月 18 日	<p>推薦応募の依頼・報道依頼</p> <p>全国の学会, 大学, 研究機関等 (約 300 件) に対して推薦応募依頼を, 報道機関 (約 40 件) に対して報道依頼を行った。</p>
7 月 15 日	<p>推薦応募受付開始</p>
9 月 30 日	<p>推薦応募締切</p> <p>全国から 11 件の推薦応募が寄せられた。</p>
10 月 10 日	<p>書類選考 (=第1次選考) 開始</p>
11 月 10 日	<p>選考委員会開催 (部門別選考・全体選考実施)</p> <p>部門別選考 (=第2次選考)</p> <p>自然科学部門, 人文科学部門, 社会科学部門に分かれて選考を行った。</p> <p>全体選考 (=最終選考)</p> <p>部門別選考に残った候補者について全選考委員で選考を重ねた結果, 自然科学部門のマンゴー病害グループ(代表者・澤岨哲也氏), 人文科学部門の麻生伸一氏, 社会科学部門の小原満春氏の3件を受賞者に決定した。</p>
12 月 10 日	<p>マスコミ発表</p>
2021 年	
1 月 20 日	<p>贈呈式 (パシフィックホテル沖縄で開催)</p>

1. 研究広報事業

(4)情報誌『沖縄協会だより』の発行

『沖縄協会だより』発行内容一覧

号数・発行月	主な内容
第16号 2020年6月	<ul style="list-style-type: none"> ・「山田真山から受け継いだ技術」 漆芸家 糸数政次 氏 ・トピックス ・沖縄協会主催・共催行事 ・応募案内 沖縄研究奨励賞 ・平和の絵―「戦争と平和」:西村計雄作「原始の野鳥たち」<制作意図> ・沖縄平和美術館 沖縄出身画家作品紹介⑤大嶺政寛作「八重山風景」
第17号 2020年9月	<ul style="list-style-type: none"> ・「父と私」 琉球舞踊無憂華の会会主 山田多津子 氏 ・トピックス ・沖縄協会主催・共催行事 ・応募案内 金城芳子基金募集案内 ・沖縄平和美術館 沖縄出身画家作品紹介⑥大嶺政敏作「回想する守護神」 ・平和の絵―「戦争と平和」:「ニライの海」<制作意図>
第18号 2020年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・第42回沖縄研究奨励賞受賞者決定 沖縄産マンゴーに発生する炭疽病と軸腐病の発生生態の解明および防除技術に関する研究 :マンゴー病害グループ(代表者・澤岬哲也) 近世琉球政治社会史の研究:麻生伸一氏 沖縄県における観光経験とライフスタイル移住の関係に関する研究:小原満春氏 ・トピックス ・沖縄協会関係事業他募集案内 ・平和の絵―「戦争と平和」西村計雄作「イザイホウ 久高島の神事」<制作意図> ・沖縄平和美術館 沖縄出身画家作品紹介⑦久場とよ作「百合の咲く丘」
第19号 2021年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・第42回沖縄研究奨励賞受賞者研究題目の要旨とこれからの抱負 沖縄産マンゴーに発生する炭疽病と軸腐病の発生生態の解明および防除技術に関する研究:マンゴー病害グループ(代表者・澤岬哲也) 近世琉球政治社会史の研究:麻生伸一氏 沖縄県における観光経験とライフスタイル移住の関係に関する研究:小原満春氏 ・協会関係事業他募集案内 ・トピックス ・平和の絵―「戦争と平和」:「かーみぬくーばか(亀甲墓)」<制作意図> ・沖縄平和美術館 沖縄出身画家作品紹介⑧玉那覇正吉作「白い船体のある風景」

2. 沖縄平和祈念堂事業

(2) 小中高校児童生徒が行う平和学習への協力

②, ③ 平和学習 DVD, ハンドブックの寄贈及び配布

・平和学習 DVD 「さとうきびの詩 清ら島 沖縄～摩文仁からのメッセージ」



【DVD の内容】

「プロローグ～摩文仁から悲しみの詩が聞こえる～」

1. 「沖縄の歴史と文化～琉球王国と伝統文化～」
2. 「沖縄戦の悲劇～住民を巻き込んだ地上戦～」
3. 「沖縄の今～米軍基地問題と再開発～」
4. 「摩文仁からのメッセージ～平和を願う沖縄のこころ～」

「エピローグ～沖縄慰霊の日・平和の使者、摩文仁の空へ～」

付録データ [平和学習ハンドブック改定増補版の一部]

・平和学習ハンドブック 「清ら島 沖縄」



【ハンドブックの構成】

主題編

1. 沖縄の概要アジアから見た沖縄
2. 歴史のあらまし
3. 沖縄戦
4. アメリカ統治時代
5. 復帰後の沖縄
6. 平和への願い

補足編

1. 沖縄の自然
2. 伝統文化
3. 島々の姿等